みず・みどり　みまもり　はぐくむ　森がすき

み～も通信

水と緑の森づくり情報誌

夏 SUMMER

2007.7
Vol.9

緑の総合イベント“2007森の誕生日”が行われました!!

今年も4月29日の「みどりの日」に、松江市宍道町の「ふるさと森林公園」で、森づくりや森林からの恵みにふれあうことができるイベント“森の誕生日”が行われました。

当日は天候にも恵まれ、県内各地で活躍されている森づくりグループや企業の展示コーナー、木工・竹細工の体験コーナー、県立緑化センターによる苗木のオークションなどに、多くの方が参加され賑わいました。

また、大人の部・子どもの部に分かれての丸太切り競争や、島根大学吹奏楽部の森のミニコンサートも開催されるなど様々なイベントが繰り広げられました。

平成18年度「水と緑の森づくり税」はこのように活用させていただきました。

決算額等

平成18年度「水と緑の森づくり基金」積み立て額：**201,082千円**

平成18年度事業費決算額：**82,599千円**（当初予算額：186,848千円）

事業の内容

① 県民参加の森づくり

森づくり・資源活用実践事業　決算額：**37,913千円**（当初予算額：40,000千円）

県民の自主的な森づくり活動を推進するため、メニューに沿って県民自らが企画・立案した取り組みを支援する「森づくり・資源活用実践事業」を行いました。

2回の募集であわせて47件の応募があり、「水と緑の森づくり会議」で県民委員の方から意見を伺いながら採択された47件の事業に対して交付金を交付しました。

この47件の事業で、県内47団体、約8,300名の県民の皆さんが、森づくりや森林の恵みを活かした活動に参加されました。

平成18年度の取り組み　（件、千円、人）

区分		第１次	第２次	合計	参加人数
森を保全する取組	件数	3	5	8	8,277
	交付金額	2,586	3,265	5,851	
森を利用する取組	件数	11	17	28	
	交付金額	9,088	14,326	23,414	
上記併用	件数	4	7	11	
	交付金額	2,624	6,024	8,648	
合計	件数	18	29	47	
	交付金額	14,298	23,615	37,913	

※参加人数は、実施団体からの報告による数値です。

森を保全する取り組み

森を利用する取り組み

森づくり推進事業　決算額：**9,736千円**（当初予算額：10,748千円）

県が主体となって、「水と緑の森づくり」のさまざまな啓発活動を行いました。

区分	金額（千円）	内容
森づくり情報交流等		
水と緑の森づくり会議の開催	678	年間４回開催
季刊誌「み～も通信」の発行	2,709	年4回、各30,000部発行。市町村・主要駅・主要スーパー・道の駅・銀行等に配布
東部イベントの実施	1,000	4月29日 ふるさと森林公園（松江市）で森の誕生日開催
	210	6月11日　奥出雲町上阿井でラムサール条約登録記念併催イベント開催
西部イベントの実施	152	12月10日 「あすてらす」（大田市）で森づくり・資源活用団体報告会開催
事務所イベントの開催	1,566	県内7箇所で実施
森への思ひの募集・決定	68	
企業の森の協定締結	34	11月29日 山陰合同銀行・県・松江市・松江八束森林組合および山陰合同銀行・県・大田市・大田市森林組合で協定締結
PR用製品の作成	1,909	バス広告 402千円、森の学習シール 621千円、県産材製品 634千円、ポスター 252千円
旅費・事務費・推進委託費	350	公募事業の推進等
森づくりプロデューサー養成および派遣		
森づくりプロデューサーの養成研修の実施	1,060	養成研修開催（延べ４日間）10名養成

大型ショッピングセンターでの水と緑の森づくりのPR

ラムサール条約登録記念併催イベント

❷ 緑豊かな森への再生

県民再生の森事業　決算額：**34,950千円**（当初予算額：136,100千円）

水を育む緑豊かな森を次世代に引き継ぐため、森林所有者と協定を結びながら不要木の伐採などを実施しました。

管内	協定締結面積（ha）	整備実施面積（ha）
松江	27.82	30.48
雲南	18.66	25.72
出雲	5.76	6.80
浜田	72.89	43.75
県央	85.85	65.59
益田	140.68	78.01
隠岐	27.59	63.93
計	379.25	314.28

※整備面積には平成17年度協定締結分を含む

平成18年度は、780haの森林を整備する計画に対して、整備実施前に県と森林所有者等との間で取り交わす協定の締結は379ha、整備面積は314haでした。

なお、平成19年度より制度を拡充して、整備を加速させることとしています。（詳しくは春号やホームページで紹介しています。）

決定 「森への想ひ」の受賞者

昨年10月から今年の1月にかけて、森での体験を題材にした「森への想ひ」を募集したところ、幅広い年代の方から、それぞれの体験に基づく「森への想ひ」が寄せられました。応募作品について厳正な審査を行った結果、入賞作品が決定しました。

部門	賞	受賞者氏名	住所	作品名
小学生	特選	岡本優花	松江市	環境について学んで
	優秀賞	井山佳奈	松江市	私と緑と地球
	優秀賞	平塚雅健	松江市	地球の自然を守る
中学生	特選	該当無し		
	優秀賞			
	優秀賞			
高校生	特選	該当無し		
	優秀賞			
	優秀賞			
一般A（10～30歳代）	特選	該当無し		
	優秀賞			
	優秀賞			
一般B（40～50歳代）	特選	該当無し		
	優秀賞	栗栖美千枝	津和野町	森は本物のアミューズメントパーク
	優秀賞	該当無し		
一般C（60歳代～）	特選	石丸正	安来市	親父との炭焼き
	優秀賞	石橋厚	出雲市	森への想ひ～父と私の～
	優秀賞	陰山晴行	斐川町	共生できる森林

水と緑の森づくり会議
今年の委員10名が決まりました。

4月18日㈬に今年度第１回目の「水と緑の森づくり会議」が開催されました。

県民からの公募委員４名を含む10名の新たな委員の皆さまに、県の小林農林水産部長から委嘱状が交付され、早速、活発な意見交換が行われました。午後からは、昨年度「森づくり・資源活用実践事業」を活用した現地や、今年度「企業参加の森づくり」として整備される竹林の視察が行われました。

今年１年この10名の方と議論を深めながら、「水と緑の森づくり税」を活用した事業を、より実りのあるものにしていきたいと思います。

委嘱状交付式の様子

委員名簿

任期●平成19年4月18日～平成20年3月31日

（50音順）

部門	氏名	住所
公募	上野信夫	松江市
公募	佐々木富士子	浜田市
情報広報	佐藤貴美	大田市
商工	周藤俊子	雲南市
森林経営	土佐則幸	益田市
ボランティア	中村正志	松江市
公募	松本尚子	出雲市
地域づくり	八幡邦彦	隠岐の島町
教育	若菜洋子	浜田市
公募	渡部律也	松江市

今年度の「水と緑の森づくり会議」開催予定

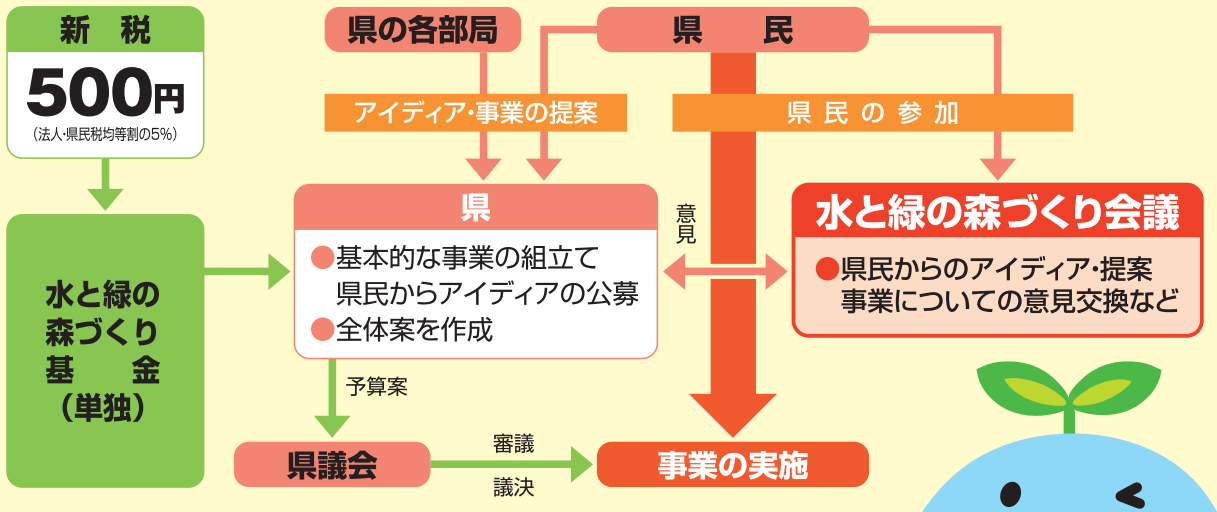
第1回　平成19年4月18日

第2回　平成19年7月24日

第3回　平成19年9月下旬

第4回　平成20年1月下旬

「水と緑の森づくり会議」の役割



「しまね企業参加の森」活動始まる

島根県では、多様な主体による県民参加の森づくりを一層推進していくために、企業が森林保全活動に参加しやすい環境を整備することを目的として「しまね企業参加の森づくり制度」を立ち上げました。昨年度松江市・大田市の2箇所の森林において㈱山陰合同銀行がこの制度の第1号の企業として森林保全活動について協定を締結しました。この度、松江市西忌部町の山林において、6月16日・17日の両日、延べ145人の同行行員等による第1回目の森林保全活動が行われました。

繁茂した竹の伐採

竹を搬出して竹炭利用

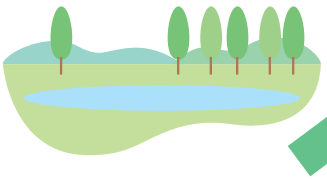
「しまね企業参加の森づくり制度」の仕組み

森林所有者
フィールド無償提供

→ 「土地の無償貸付契約」 →

企　業
社会貢献活動
- 森林保全活動
- 費用負担
- 地域との交流

↓ 「森林施業・管理委託契約」



「森林保全活動に関する協定」

県
- 総合的なコーディネート
- 連絡調整
- フィールドの紹介
- 施業へのアドバイス　など

市　町　村
- 地元でのコーディネート
- 地域との交流の受入れ体制整備
- 市町村森林整備計画に基づく施業基準の適用　など

森林組合
- 技術指導
- 森林施業・管理委託

企業の森林保全活動や地域との交流への指導・助言・協力

「みーもくん紙芝居」で次世代にPR!

「水と緑の森づくり」を広く県民の方や子供たちに伝え、PRするため、イメージキャラクターの「みーもくん」を主役にした紙芝居「みーもくんの冒険」を製作しました。

内容は、みーもくんが森や川、海を冒険し、いろいろな出会いの中で、水や森づくりの大切さを伝える物語となっています。A3サイズのカラー10枚組で、県内の小学校や公立図書館に配布しています。

その他「県庁林業課」や「各農林振興センター」でも貸し出ししております。是非ご活用下さい。

森づくり・資源活用実践事業の取り組み

県民の皆さんのアイディアと参加による、森づくり・資源活用実践事業の第1次募集分の取り組みが決定しましたのでお知らせします。

平成19年度 第1次分決定事業14件

分野	取り組みの名称	事業概要	実施団体（実施場所）
森を保全する取り組み	後世に伝える防風松林	隠岐の島町は昭和52年ごろから、松くい虫被害が拡大し、このままでは防風松林が枯れ果ててしまう恐れがある。このため、地域住民が安全で安心できる暮らしができるよう地区住民が協力して保護・再生し、また、山林への関心が薄れた若い世代等に親子育林・植樹講座を開催し後世に森の大切さを伝えていく。	防風松林を守る会（隠岐の島町）
	森づくり講座と森の健康診断	森を間伐して下層の植物を多様にすることは自然環境を良くする上で大切である。整備した森林と未整備の森林の土壌調査等を行い、結果を活用した森づくり講座や、実際に県民と一緒に間伐等の整備作業や調査作業を実施し、島根県の森の健全化を目指す。	仁多郡林業研究グループ（奥出雲町）
	遠田海岸防風保安林整備事業	安田地区連合自治会を中心に、地元地区民、安田小学校の児童、安田史跡愛護会等の諸団体が協力して、地域の防風保安林にクロマツ他４種類の樹木を植栽し、また継続して保育活動を行い森林の機能回復を図る。	安田地区連合自治会（益田市）
	きれいな松林を育て次世代に残す運動 in 大塚	過去先人たちが育ててきた防風林が松くい虫等の被害で枯死し、松林がなくなってきた。このため大塚地区民一体となって松、桜、椿等の植樹によりきれいな松林を再生させる。また、森づくり講座を開き、チェンソー等の講習会や地域の森づくりの歴史等を次世代に伝える。	大塚自治会（益田市）
森を利用する取り組み	森を利用する取り組み	不燃物の分別がより細かくなる中、新たな収集場の設置を計画しており、これを地元で生産した木竹材を利用し、地元住民の手で製作設置することにより木竹材の活用方法や良さを再認識してもらい、併せて完成後は地元住民や小学生などを対象に森林･木材産業の学習会を開き、地元木材の有効利用や森づくりなどをPRする。	殿之奥自治会（安来市広瀬町）
	「県産材を使って、森の家をつくろう！」県産材利用による小屋づくり実践講座実施事業	間伐材を中心とした県産材の活用が促進されることは森林の健全化へつながる。広く県民の参加を呼びかけ、県産材を活用した小屋づくりのノウハウを体験的に学んでいただき、さらに小屋を拠点として、周辺のヒノキ林を対象とした森林保全活動をボランティアで実施していく。取り組みはホームページなどでも広くＰＲしていく。	特定非営利活動法人もりふれ倶楽部（飯南町）
	木のぬくもり体験講座（テーブル・ベンチ・木柵づくり）	志学中学校緑の少年団や保護者、地域住民の共同作業により、県産材利用によるテーブルベンチ木柵づくりを実施し、体験作業を通して島根の木と山に対する親しみを深め、木材の良さ大切さの意識の高揚を図る。	上山地域「桜の里づくり」実行委員会（大田市）
	弓市商店街町並み整備事業	19年度に整備される商店街（カラー舗装等）にあわせ、商店街が持つ、人が集まり、ふれあい、憩うという地域のコミュニティー機能の再構築を目指し、県産材を使ったベンチ製作や、木製看板を会員や町民、中学生などの参加により作成し、商店街に設置し、イベント等でも県産材を生かした町づくりをＰＲしていく。	弓市商店会（川本町）
森を保全する取り組み・森を利用する取り組み	竹林のワイズユース ～遊んで学べる 竹のフィールドづくり～	森林資源のワイズユースをテーマに、荒廃が著しい里山の保全と利用を学ぶため、ふれあいの里奥出雲公園をフィールドに、竹林の除間伐作業体験や利用による保全講座を広く県民の参加を得て開催し、整理された竹林への遊歩道整備や案内看板を県産材を用いて設置する。	財団法人三瓶フィールドミュージアム財団（雲南市掛合町）
	里山で未来の大人を育てる活動	周辺地域住民に参加を呼びかけ、会員所有の里山の自然の中で、かまどづくりや薪割り体験、山菜狩り、キノコ狩りなどいろいろな自然体験活動を実施する。また、かまどの建屋や拠点となる納屋の内装等に県産間伐材を使用して整備し、将来はグリーンツーリズム（山村と都市との交流）を目指す。	おみず会（浜田市）
	全国雑木林会議　石見銀山大会	緑と水の連絡会議では市民ボランティアによる様々な森づくりに取り組んできたが、「世界遺産を守る森づくり」が全国的に注目されるようになり、平成19年度の全国雑木林会議を島根県に招致することができた。全国からの参加者とともに広く一般県民の参加を得て荒廃竹林の伐採竹の集材や、竹チップの歩道施設などのワークショップを開催し、子供たちによる森づくりなども実施する。	NPO法人緑と水の連絡会議（大田市）
	みんなで森へ行こう（森林資源の循環利用体験ツアー）	持続可能な循環型社会を構築するため、次世代を担う子供たちとその親に植樹や間伐を通じて森林の必要性や自然環境保護の重要性を伝える。また、主伐現場や製材作業の見学や、伐採された木材を活用したベンチづくりを行い石見銀山遺跡遊歩道等公共施設に設置するなど地域材の利用促進による荒廃森林の整備を学んでもらう。	石州素舞流（大田市）
	広葉樹植栽と住まいづくりセミナー等の開催	木を植える、育てるといった手入れを行うことは森林の二酸化炭素吸収力を高めることに繋がる。また、木造住宅への地域材の利用は形を変えた炭素の貯蔵である。今回一般県民を対象に広葉樹の植栽や、木造住宅への地域材（特に乾燥材）利用をPRする住まいづくりセミナー等を開催する。	高津川流域林業活性化センター（益田地域）
	25世紀の森づくり事業	間伐等が行われず荒れているマツやスギの針葉樹林の間伐や手入れを定期的に行い、その間伐材を簡易製材し、カブトムシなどの産卵場所や巣箱をつくり、25世紀の森及びみんなの森の整備を行い、みんなが遊べる交流の森を整備する。	野遊びプロジェクト（津和野町）

み～も通信 水と緑の森づくり情報誌 夏号 2007.7 Vol.9

●発行：島根県農林水産部林業課　水と緑の森づくりスタッフ
〒690-8501 松江市殿町１番地
TEL0852-22-5170　FAX0852-22-6167
http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/

古紙配合率100%再生紙を使用しています　※環境にやさしい大豆インキを使用しています